

公益財団法人 綿貫国際奨学財団

2023年度奨学生募集要項

I. 奨学金制度の概要

1. 支給金額

学費及び生活費として、下記の金額を支給する。
月額 150,000 円

2. 奨学期間

- ①新規採用の場合は、原則1年間（4月～翌年3月）とする。
- ②継続・延長申請を認めた場合は、①と併せ最長3年間の受給を認める場合もある。

3. 申請者の区分

申請者は下記のように区分する。

- ①新規申請者…財団の奨学金を受給したことの無い者。
- ②継続申請者…現在当財団の奨学生および以前、当財団の奨学金を受けたことのある者で継続を希望する者。
- ③延長申請者…1年以内に指導教官から博士号取得の見込みがある旨の推薦を受けた現奨学生について、6ヶ月程度の延長を認める場合がある。（オーバードクターの際）

4. 支給停止等の要件

下記のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止、又は奨学生の資格を失う。

- ①当該大学の学籍を失ったとき。
- ②病気その他の事由により、修学・研究を継続する見込みのないとき。
- ③学業成績不良、又は指導教官から修学・研究の継続に不適格と認められたとき。
- ④応募書類等に虚偽の記述が認められたとき。その他、当財団の奨学生として、ふさわしくない素行のあったとき。
- ⑤その他の異動により、応募資格に該当しなくなったとき。

5. 奨学金支給時期 ※初回の奨学金支給の時期にご注意くださいませ。

- 6月30日頃（4か月分）
- 8月25日頃（2か月分）
- 10月25日頃（2か月分）
- 12月25日頃（2か月分）
- 2月25日頃（2か月分）

Ⅱ. 応募資格

1. 国籍と在留資格

日本以外の国籍を有し、アジア太平洋地域諸国（Ⅴ. 応募者国籍の範囲）から、在留資格「留学：College Student」で来日している者。（家族に日本在住の外交官や駐在員、及び日本国籍者がいる者は応募資格が無く、支給開始後に該当することになった場合は、その時点で支給停止。）ただし、採用上のバランスを保つため、国籍による募集制限を行う場合がある。

2. 在籍大学

当財団が推薦を依頼する大学の、大学院博士課程（前期・後期）、及び医・歯学系博士課程に在籍する者。留年者を除く。（ただし 2023 年 3 月 31 日迄に次年度入学が決定する者、あるいは 2023 年 4 月以降に進級見込みのある者を含む。）

3. 資質

優秀な学力と穏健な性格をもち、心身ともに健全な者。将来、グローバルな視点をもった指導者を目指し、国際理解と親善に貢献する意欲のある者。日本語によるコミュニケーションに支障のない者。

4. 奨学金の併給

他奨学金の併給は認めない。現在受給中の他奨学金の支給期間が 2023 年 4 月以降に及ぶ場合は、その奨学金を辞退する者。

5. 交流事業への参加

年 2 回の「奨学生の集い」に参加すること。奨学金終了後も当財団との交流を継続すること。

6. 経済的に困窮している事が客観的に認められること。

Ⅲ. 応募方法

1. すべての応募者は、指定大学（在籍中、又は進学予定）の推薦を受け、応募書類を作成し、指定大学を経由して提出すること。

2. 応募書類

①奨学金申込書

証明写真データを貼り付けること。（2022 年 4 月以降撮影したもの。上半身正面向き。）

②指導教官の推薦状

③奨学生推薦状（署名、捺印後スキャンして pdf データでの提出）

④研究状況報告書…今後の研究計画又は現在までの研究状況について作成。

日本語で**自筆**のものをスキャンして提出。

⑤上級課程進学予定者は、合格通知書。応募時に合格していない者については、合格次第の提出で可。

⑥学業成績表。現課程のものが入手不可能な場合は、直前課程の成績表。

※博士後期課程で成績評価をおこなっておらず成績表の発行ができない場合は、直前課程の成績表と合わせて、申請時点の修学状況や教授の評価がわかる書類を作成し提出すること。

⑦外国人登録証明書のコピー。（表・裏）

3. 応募書類は英語または母国語表記の表示がない限り原則としてすべて日本語で作成すること。

IV. 選考と採用

1. 選考は、書類選考と面接試験により行い、採用は選考委員会を経て、理事会で決定する。
 2. 書類選考結果は、12月下旬～1月頃通知予定。（新規応募者と在籍大学に対し一次合格通知（面接通知）または不合格通知、継続・延長応募者と在籍大学に対し内定通知）
 3. 面接試験は、1月頃を予定。
 4. 面接試験結果は、面接実施者と在籍大学に対し、2月頃通知予定。
 5. 最終決定は、3月の採用資格確認を経て、4月末頃を予定。
- ※ 応募書類は返却しません。また、選考内容に関する問い合わせには一切応じません。

V. 応募者国籍の範囲

パキスタン	ネパール	インド	ブータン
スリランカ	モルジブ	バングラデシュ	ミャンマー
タイ	ラオス	カンボジア	ベトナム
フィリピン	インドネシア	マレーシア	ブルネイ
シンガポール	台湾	韓国	中国（香港を含む）
モンゴル	オーストラリア	西サモア	ニュージーランド
パプアニューギニア	ソロモン諸島	その他太平洋上諸国	

※当財団では国籍の偏りがないように、できるだけ多くの国から留学生を採用する予定です。

2023年度は、千葉・筑波・東北・日本・亜細亜・明治・千葉工業の7大学について、新規推薦の場合は中国を募集範囲から除外します。また、東京・京都・名古屋の3大学について、新規推薦の場合は韓国を募集範囲から除外します。国籍の制限につきましては、ご理解・ご協力くださいますようお願い致します。

<提出書類記載上の注意>

(共通項目)

- ① 自筆での提出書類（研究状況報告書）については黒インク、黒ボールペンを使用し、原則として日本語で正確に読みやすく記載すること。
- ② 西暦を使用すること。
- ③ 地名・名称等は省略せず、正式名で記載すること。
- ④ 選択肢の部分は○で囲むか、□に✓を挿入すること。
- ⑤ 枠内に書ききれない場合は行を増やすなどして対応すること。
- ⑥ 応募書類が揃っていない場合、**また入力が必要な部分が空欄な場合、受付をいたしません。**

(奨学金申込書並びに奨学生推薦書)

1. 姓名…表記できる方法全ての欄に名前を入力し、カタカナで読み方も必ず入力すること。母国語での表記も可能な限り入力すること。
 6. 母国住所…母国にて郵送されるような表記で、正確に記入して下さい。郵便番号がある場合は必ず入力してください。
 9. 学歴…現在までの卒業校と在籍校をすべて入力して下さい。
 10. 職歴…6 ヶ月以上勤務したものをすべて記入して下さい。兵役については勤務先及び所在地の欄に「兵役」と記入し、勤務期間のみ入力して下さい。
 11. 日本の教育機関において、これから取得しようとする学歴計画
- …上級課程に進学を予定（希望）している方は、進学希望、博士号の取得希望について必ず入力してください。また、帰国予定日については全員が必ず入力して下さい。（帰国年月が未定の場合は、おおよその年度でかまいません。）
- 12(1). 留学終了後の仕事又は職場の予定…将来の進路予定・希望を必ず入力して下さい。
 - 12(2). 母国への具体的な貢献策について…将来、母国発展のために出来ることや、これから取り組みたいと思っていることなど、具体的に入力して下さい。
 14. 他の奨学団体への来年度奨学金の応募予定…併願状況は必ず入力して下さい。継続での応募の方も必ず記入すること。
 15. 過去に受けた奨学金の名称及び期間…成績評価の資料にもなりますので、すべ

て記入して下さい。

16. 家庭状況…両親などが既に死亡・退職している場合でも、死亡・退職前の職業を記入して下さい。結婚して家を出た兄弟姉妹についても、すべて記入して下さい。

(研究計画書および研究状況報告書)

- ①～④ できるだけわかりやすくシンプルに研究についてご記入ください。

自由に行数を調節して印刷し、書き込んでください。

- ⑤・⑥ 手書きではなく入力したものや、すでに作成された別紙を添付しても構いません。

※募集要項に記載した内容については、応募者全員がよく理解したうえで書類を作成したものとして、取り扱います。なお、書類作成上の疑問については、原則として回答いたします。

提出書類に記載された事項についての秘密は厳守いたしますが、併願についての他財団、大学等の問い合わせに対し、最低限必要と判断される内容については回答することがありますので、ご了承下さい。

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

	成 績 評 価				
4段階評価（パターン1）		優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）		A	B	C	F
4段階評価（パターン3）		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
- ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
- ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
- ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
- ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
- ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
- ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
- ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。

※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。